



産科だより

新年あけましておめでとうございます。昨年の10月より産科だよりを書かせていただけたことになり、今月号でまだ4回目ですが、誰か見てくれているかなあ、産科のこと伝わるかなあと不安でした。そんな中、この間の夜勤中に陣痛が来て入院した妊婦さんが「産科だよりを書いていての方ですか？いつも楽しみに見えています。」と声をかけてくださいました。1人でも楽しみにしてくれている方がいるとわかって、とてもうれしく、やる気アップで新年突入です。今年もよろしくお願い致します。

今年は何人の赤ちゃんが産まれるかな。昨年は460人の赤ちゃんが産まれてきてくれました。なかなかお産が進まず、付き添っていたパパが上の子を保育園にお迎えに行っている間に急激に進んで間に合わなかったこととか、立ち会いのお母さんが産まれる前に泣き出してフライングですよと笑ったり、陣痛かと思いきや前駆陣痛で一旦退院したものの、帰ったその日に本陣痛が来て、あわただしいお産になったりといろんなことが起き、それぞれのお産がありました。今年はどうなお産が待っているかな。楽しみです。

◆母親学級

母親学級は分娩を取り扱う各病院や市や区で行われているもので、妊娠中の過ごし方や注意点、お腹の中で赤ちゃんはどのように成長しているのか、お産はどのように進んでいくのかなど、妊娠・出産・育児に関して情報提供をする場です。当院でも妊娠と分娩に関するこの2回に分けて、それぞれ月1回ずつ実施しています。当院は希望参加ですが、参加すれば赤ちゃんがどのようにして大きくなっているのか、安産への準備や、お産中のパパの役割、お産までにやっておくことなどを知ることができます。お産は初めての人はもちろん、2回目、3回目の人も不安なものです。その不安を少しでも取り除く為にぜひ参加してみてください。参加すれば、今以上に赤ちゃんに愛着がわいてきますし、お産という



目標に向けて、身体や心の準備をすることができます。赤ちゃんを家族みんなで楽しく迎え入れるために、しっかりと準備してあげましょう。

◆今月の赤ちゃん

先日、幼なじみという2人のママのお産がありました。1人は2017年最後のお産、もう1人は2018年最初のお産で、年はまたいでしまっただものの、たった6時間違いでした。どちらも男の子。予定日も1日違いで、入院のきっかけも2人とも前期破水（陣痛が来る前に破水すること）でした。こんな偶然であるものなんです。授乳も2人仲良くしています。1人は経産婦さんで、もう1人は初産婦さん。身近に先輩ママがいて、初産婦さんとしては心強いですね。お二人のママさん、写真掲載のご協力ありがとうございました。



◆編集後記

今月の母親学級は妊娠に関する第1回目、分娩に関する第2回目が1月22日の予定になっております。どちらも私が担当する予定です。参加される方はよろしくお願いたします。

担当 郷原